



# 酪農試験場だより

No. 91



ソルガムの奨励品種  
(P931)

今月の内容

- 1・平成10年度品種選定試験（ソルガム）結果について
- 2・今年度のトウモロコシサイレージの分析値
- 3・馴致って、な～に？

今後の粗飼料分析受付日  
3/3（水）・3/10（水）・3/17（水）

# 平成10年度品種選定試験（ソルガム）結果について

表1 平成10年の気象概況

	気温	降水量	日照時間
4月	高	多	少
5月	高	多	少
6月	並	少	少
7月	並	多	一
8月	低	多	少
9月	高	多	少
10月	高	多	少

\* 7月は欠測があり平年と比較できなかった

平成10年は春先の高温に始まり、長雨、8月末の集中豪雨等天候不順が続いた一年でした。4月以降の気象概況を表1に示しました。気温は8月で平年より低かったものの、その他の月では平年並み以上、降水量は6月で少なかったものの他の月は平年以上、日照時間は平年より少ないという状況でした。昨年は農家の方はもちろんのこと、飼料作物にとっても大変な一年だったのではないでしょう

か。  
酪農試験場では例年どおりソルガムの品種選定試験を行いました。平成10年度の試験はソルゴ型普通タイプ2品種、ソルゴ型糖蜜タイプ2品種、ソルゴ型極晩生タイプ4品種、兼用型3品種について栽培を行い、表2のとおり結果がまとまりました。

播種は、5月27日に行いました。出芽率は、FS405が63.5%、TS9455が60.4%と他の品種より低い値でした。初期生育良否は、播種後30~40日のソルガムの生育状況について調査した結果です。ソルゴ型極晩生タイプのP931と兼用型のスズホが良い成績でした。稈長はソルゴ型普通タイプでGW9110、ソルゴ型極晩生タイプでP931、兼用型でFS5が良い成績でした。稈長、稈径、乾物収量についてもそれぞれGW9110、P931、FS5が良い成績でした。折損、倒伏については、9月16日の台風通過に伴いすべての品種が被害を受けました。

下記のデータを参考にされ、安定した粗飼料生産に努めて下さい。

(草地飼料部 百武友紀子)

表2 平成10年度品種選定試験成績(ソルガム)

タイプ	品種	出芽 日数	出芽 率 %	初期 生育 良否	出穂 日数	稈長 cm	稈径 mm	乾物 収量 kg/a	乾物 率 %	折損 %	倒伏 %	収穫時 ステージ
ソルゴ型普通タイプ	KCS104	6	76.7	3	80	299	1.92	125.1	23.2	13.3	53.3	完熟
	GW9110	5	77.4	4	91	321	1.96	160.0	25.4	35.0	33.3	糊・前
ソルゴ型糖蜜タイプ	KCS105*	6	74.3	2	93	-	-	-	-	-	-	-
	SugerGraze	6	79.1	2	93	-	-	-	-	-	-	-
ソルゴ型極晩生タイプ	FS902*	5	70.6	3	105	385	2.02	151.5	25.6	30.0	16.7	開花
	FS405	5	63.5	4	104	410	2.03	181.3	26.6	10.0	20.0	乳・前
	TS9455	6	60.4	2	91	307	1.69	72.9	20.3	66.7	33.3	乳・後
	P931*	6	78.3	5	101	446	2.20	199.6	31.6	30.0	3.3	開花
兼用型	スズホ	5	76.5	5	72	218	1.85	56.6	24.1	43.3	13.3	完熟
	東山交21号	6	75.7	4	73	234	1.83	57.2	21.5	30.0	0.0	完熟
	FS5	6	77.6	4	80	298	1.96	104.2	23.0	26.7	60.0	乳・後

※初期生育良否は 1:不良~5:良

KCS105、SugerGrazeは全面倒伏のため収量調査行えず

\*は奨励品種

## 今年度のトウモロコシサイレージの分析値



昨年8月に県北を中心として県内各地を襲った豪雨により甚大な被害が発生しました。これによる飼料作物の被害は全く収穫ができなかった飼料畑が約470haにのぼりました。収穫ができた飼料でも、飼料畑や地下式サイロへの冠水等により適期に収穫できず刈り遅れてしまったものも多数の畜産農家で見られました。そのため、最近になって利用しているサイレージは今までのものとは異なっているものと思われます。酪農試験場では原則的に

毎週水曜日に粗飼料の分析を行っていますので、昨年11月から現在までに分析した今年度のトウモロコシサイレージと平成8, 9年度に分析したトウモロコシサイレージの分析値について比較いたしましたのでお知らせいたします。

現物中	水分	TDN	総繊維
今年度	69.4	19.1	16.4
8, 9年度	71.6	17.7	15.6

水分については今年度のサイレージは刈り遅れのためやや低い値となっています。TDNや繊維については8, 9年度と比べて遜色のないものとなっています。

	乳酸割合	酢酸割合	酪酸割合	フリーグ評点	VBN比
今年度	59.7	36.4	3.8	67	5.9
8, 9年度	62.5	36.5	1.0	76	6.1

しかしながら、発酵により発生する酸（乳酸・酢酸・酪酸）の割合を比べてみると、良い発酵をした

場合に割合の高くなる乳酸の割合がやや低く、悪い発酵をした場合に高くなる酪酸の割合がやや高くなっています。発酵品質を点数化したフリーグ評点についても低くなっています。サイレージを個別に見ますと大半のサイレージはそれほど悪い発酵はしていないものと思われますが、中には乳酸の割合が3%ときわめて低く、酪酸の割合が45%と極めて高いものもあり、香味や色沢についてもかなり悪いものがありました。アンモニアの割合を表すVBN比は8, 9年度と同程度でしたが、水分の低いサイレージは2次発酵が起こりやすく、VBNの増加が予想されますのでサイロの開封後は早めに使い切るよう心がけてください。

これらのサイレージを給与することにより牛の第一胃内で異常発酵が起こり様々な病気の引き金となる可能性があります。サイレージを与えて、牛群の食欲が減少したり、乳量の低下などが起きたときには直ちにサイレージを乾草に代替えするなどの処置が必要と思われるので、注意しながら給与して下さい。

(経営調査部 濱田 勉)

じゅんち

# 馴致って、な～に？

…放牧前の飼養管理…



耳慣れない言葉、「馴致」を辞書で引くと、①なれさせること、②次第にある状態になるようにすること、と書かれています。

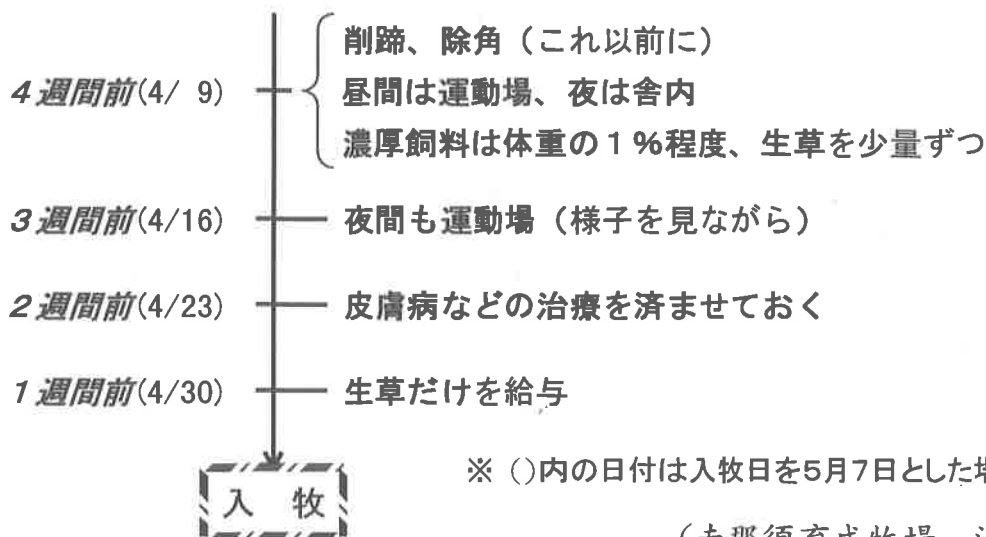
平たく言えば、「だんだんにならしてゆくこと」でしょうか。

子牛にとって、舎飼から放牧への環境変化は相当なストレスです。暖かな牛舎から寒い野原に放り出され、食べ物は青草だけです。あらかじめ放牧に似た環境にならしておかないと、病気や発育停滞といったことになりかねません。専門用語で、このならし作業を放牧馴致といいます。

具体的な放牧馴致のスケジュールは下図のとおりです。参考にしてください。

また、放牧は集団生活です。皮膚病などを治しておくのは最低限のマナーですから忘れずに実施してください。

## ----- 入牧までのスケジュール -----



(南那須育成牧場 沼野井憲一)

酪農試験場だより No.91

〒329-2747 西那須野町千本松298

電話 0287-36-0280

FAX 0287-36-0516

栃木県酪農試験場 平成11年3月1日